

つぎの ぶんしょうを よんで、もんだいに こたえましょう。

ぼくは、じてんしゃのれんしゅうをしていました。おとうさんが、うしろをもっとくれています。

「まっすぐまえを見て。」

おとうさんがいいました。ぼくは、ペダルをぐいぐいこぎました。

しばらくして、ふりかえると、おとうさんは、ずっとうしろのほうに立っていました。手をふっています。

「あれっ。」

ぼくは、一人でのっていたのです。

びっくりして、足をついてしまいました。でも、うれしくて、大きなこえでさけびました。

「おとうさん、のれたよ。」

おとうさんは、はしってきて、ぼくのあたまを、ぐしゃぐしゃとなでてくれました。

(このもんだいのための かきおろし)

(一) おとうさんは、ぼくに、なんと言いましたか。ぶんしょうから十字までで、かきぬきましょう。

ま	っ	す	ぐ	ま	え	を	見	て	
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

(二) ぼくがふりかえると、おとうさんは、どうしていましたか。ア～ウから一つえらびましょう。

ア じてんしゃのうしろを、もっていた。

イ ずっとうしろのほうに立って、手をふっていた。

ウ いえの中に入っていた。

イ

(三) 「あれっ。」とありますが、ぼくは、なにに気がついたのですか。「のです」につづくように、ぶんしょうから十字までで、かきぬきましょう。

一	人	で	の	っ	て	い	た		
---	---	---	---	---	---	---	---	--	--

(四) おとうさんが、ぼくのあたまをなでてくれたのは、どんなきもちからですか。二十字までで、かきましょう。

き	じ								
も	て	ん	し	や	に	の	れ	て	、
ち									う
									れ
									し
									い

【小I】国語 文章問題 物語文 2 答えと解説

問一（二十五点） 答え：まっすぐまえを見て

解説：はじめのほうの、おとうさんのことばかり。

問二（二十五点） 答え：イ

解説：ふりかえったところの文から。おとうさんは、もう手をはなしていた。

問三（二十五点） 答え：一人でのっていた

解説：すぐあとの「ぼくは、一人でのっていたのです」から。

問四（二十五点） 答えの例：じてんしゃにのれて、うれしいきもち。

解説：ぼくが「のれたよ」とさけんだあと、おとうさんは、はしってきた。二つが入っていれば正かい。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①ぼくがじてんしゃにのれた

②うれしい（ほめてあげたい）